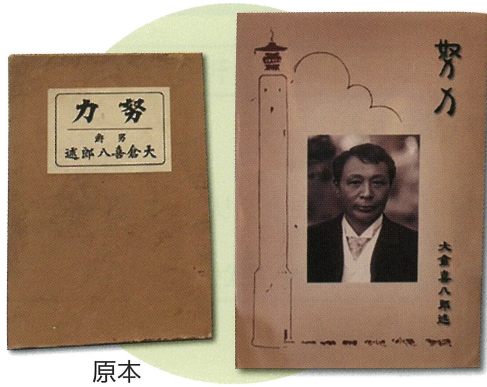
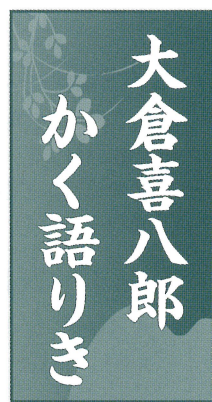


東京経済大学刊行図書のご案内

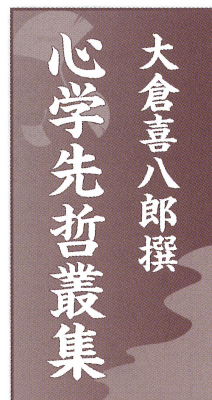


原本

東京経済大学は二〇一六年の春に
 本学の前身である大倉商業の創立
 者・大倉喜八郎の口述書『努力』（井
 上泰岳編集）を、装いを新たに蘇ら
 せました。原著の『努力』はちよう
 ど百年前の一九一六（大正五）年に
 刊行されました。これを、同大学史
 料委員会の編集の下で現代の表記に
 改め、解説、年譜、膨大な注、フリ
 ガナを施して刊行しました。
 本書は、折りにふれて語られた内
 容が四つの章に組み立てられ、一つ
 の大きな著作の形をとっており、全
 編をとおして大倉の考えが力強く
 堂々と語られております。

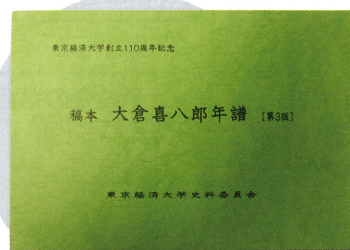


東京経済大学は二〇一四年の秋に
 『大倉喜八郎かく語りき』（新書判）
 を刊行しました。
 大学の史料委員会が、大倉喜八郎
 の講演、談話等三〇編を編纂し、理
 解を深めるための解説と略年譜を載
 せ、本文には多くの注とフリガナを
 施した本です。
 明治、大正、昭和初期の大倉喜八
 郎の言葉と精神が、現代に蘇りまし
 た。反響は大きく、卒業生が購入さ
 れるほかに、社員教育等にも使用さ
 れ、また研究者の間でも大きな関心
 が寄せられています。



原本

青年大倉喜八郎は、上野で乾物・
 魚屋を営んでいた頃、時間を作って
 は商売や人生に関する訓言を書き溜
 めていました。これらをまとめたも
 のが『心学先哲叢集』（万延元年（一
 八六〇）年）です。大倉が満二歳
 の時の編纂書です。
 本書は二〇一〇年に創立一一〇周
 年記念事業の一つとして、『心学先
 哲叢集』の原文の復刻に、読み下し
 文、現代語訳、解説などを付して刊
 行しました。大倉が何を学び、何を
 教訓として人生を歩んできたか、そ
 れを窺い知る貴重な本です。



『大倉喜八郎年譜』
 も創立一一〇周年記念
 事業の一つとして刊行
 され、その後二度にわ
 たる大幅な増補改訂を
 行っており、『稿本 大
 倉喜八郎年譜 [第3
 版]』は二〇一二年に
 刊行された最新版です。

大倉喜八郎生誕の一八三七（天保八）年か
 ら、一九二八（昭和三）年までの全生涯について、
 経済活動とそれに関連した政治活動、また社会・
 文化・教育など広範な活動を対象とし、一九四
 九（昭和二四）年の東京経済大学設立までをフ
 オローしております。また、生涯詠い続けた狂
 歌の採集につとめ、約五三〇首を載せています。



創立一一〇周
 年記念事業の一
 つとして、大倉
 高等商業学校の
 学生の新聞会発
 行『大倉高商新聞』の創刊号（一九二八（昭和
 三）年）から東京経済大学の学生の新聞会発行
 『東京経済大学新聞』の一九七八（昭和五三）年
 一月までの新聞を縮尺版にて復刻出版しました。
 解説、総目次、執筆者索引からなる別冊付きです。